



いの や え ひろし
猪八重寛さん

鹿児島県立出水高校教諭

鹿児島県出身。平成元(1989)年に鹿児島大学を卒業後、鹿児島県の公立高校の教諭に。平成19(2007)年、修士課程言語学コース(国語分野)に入学。修了後、現任校に着任。今年度は進路指導に携わっている。



たわらはら まさ ひと
俵原正仁さん

芦屋市立打出浜小学校教頭

西宮市出身。昭和61(1986)年、学校教育学部自然系コースを卒業後、佐用郡の公立小学校に勤務。平成元(1989)年に勤務地を芦屋市に移す。近著に「プロ教師のクラスがうまくいく「叱らない」指導術」(学陽書房)。

→放課後に古典の個別指導をする「ともあります」



→先日、2年生の国語の授業をしました



専門外の分野も学び “知の森”の探索を

鹿 鹿児島県の公立高校に20年ほど勤務した後、県の派遣研修生として兵教大の大学院に入学しました。教員経験を経ての学生生活では、教科面での専門的な知識やさまざまな教育シーンでの実践的な対応などを学ぶことができました。

在学生の皆さんには、専門の教科や学問を深めるのももちろん、専門外の分野もできる限り学ぶことをお勧めしますが、英文学や言語学、身体表現などの授業も受けることで、知らなかった世界や発想を知ることができました。これまでの自分がいかに狭い視野で物事を考えていたかを痛感しました。

人は幼いころにさまざまな味を経験しているほど、味覚が繊細になるといいます。教員を目指す皆さんも大学や大学院で、知の森を探索し、より広く深みのある知の枠組みを習得し、この世界の切り取り方を児童生徒に還元していただきたいと思います。

草を見ずして草をとる 教育のプロ中のプロに

昔 の格言に次のようなものがあります。「下農は、草を見て草をとらず。中農は、草を見て草をとる。上農は、草を見ずして草をとる」この言葉は「アマチュア以下の者は畑に雑草が生えてくるのを見ても抜き取るうとしないが、プロ中のプロともなると前もって雑草が生えないような方策を取る」ということを意味します。

これを教育現場に例えると、アマチュア以下の教員は「目の前でいじめられている子がいるのに叱らない」ということになりませぬ。プロの教員たる者は「普段からいじめが起きないように学級づくりをしておく」ということをしなければいけないのです。

当然、兵教生の皆さんはプロ中のプロを目指していることと思います。そのためにも大学でしっかり学び遊んで、教員としての土台をしっかりと育ててくださいね。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第34回大学院同窓会総会・研究大会in山口の開催

大学院同窓会総会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は山口県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月9日④・10日⑤
- ◎会場 セントコア山口(山口市)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表講演(講師:加治佐哲也学長、上田俊成松陰神社宮司) 松下村塾、萩明倫館などの見学